

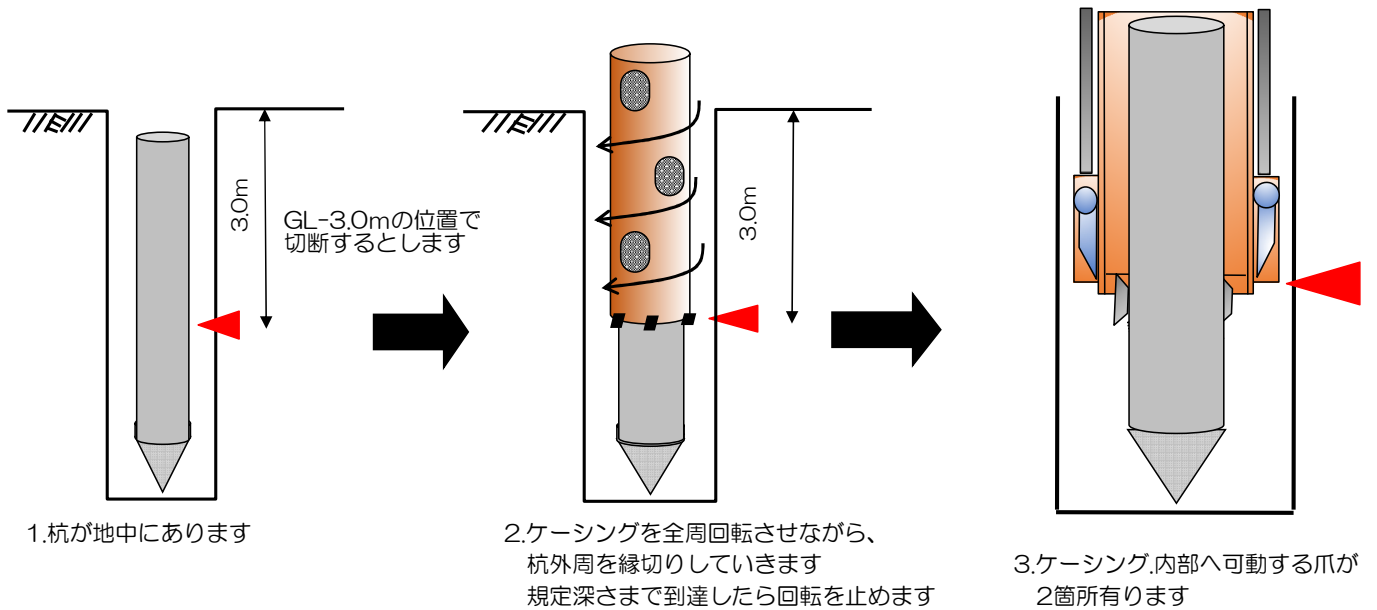
# スーパーパイルカット工法について

地中に残された杭の撤去方法として、杭を引き抜く場合もあるが、残置する場合があります。残置の場合に際し、杭頭を規定の深さで切断撤去する場合があります。バックホウで切断撤去施工可能な深さなら良いですが、バックホウでの施工が困難な深さになる場合があります。

そこで、考えられたのが、『スーパーパイルカット工法』である。

この工法は ケーシング先端付近に装備された 爪（2箇所）が ケーシング内部へ 可動することにより、ケーシングの回転と同時に杭を規定の深さで回転切断し、切断された上杭がケーシング内部に内包され、地中に残すことなく 撤去する工法である。  
（ちなみに鋼管杭も切断撤去可能）

## （施工詳細図）



## 参考写真

